

# コールセンター Q&A

～ コールセンターによく寄せられる質問についてご紹介します ～

## Q103

尿試験紙で潜血が陽性なのに、尿沈渣では赤血球が認められませんでした。  
この結果の乖離はどのように解釈すれば良いですか。

## A103

尿試験紙が陽性を示したにもかかわらず、尿沈渣で赤血球が認められない  
場合の解釈として考えられることは大きく 2 つあります。

### 1) 赤血球の破壊

赤血球は尿中に存在していたのですが、何らかの理由により壊れてしまい尿沈渣の鏡  
検時に認められなかったことが考えられます。この場合、尿試験紙では赤血球のヘモグ  
ロビンを測定していますので、赤血球が壊れていても陽性となります。

《対策》⇒ 尿採取後、速やかに冷蔵保管し当日中に提出してください。

### 2) 試験紙の偽陽性

冷蔵保管を行っているにもかかわらず、結果の乖離が見られた場合は、以下の事象が  
ないか確認してください。

#### ①ヘモグロビン尿 / ミオグロビン尿

⇒ヘモグロビンとして反応しますので、生化学値と合わせて確認してください。  
(溶血性疾患、CK など)

#### ②強度細菌尿 / 強度白血球尿

⇒ペルオキシダーゼ産生により、試験紙が反応しますので、尿沈渣結果を参照し  
てください。(細菌数、白血球数)

#### ③精液の大量混入

⇒ジアミンオキシダーゼ産生により試験紙が反応しますので、尿沈渣結果を参照  
してください。(精子の有無)

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 血液・尿一般係

\*ウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

<広報委員> 谷敷 圭美 / 石田 啓 / 枡本 健 / 大田 彩咲日